提案用紙（次期札幌市アイヌ施策実施プランのアイデア）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | （ふりがな） | | 住所 | 〒 |
|  | |
| 電話  番号 |  | | メール  アドレス |  |
| やりたいこと  やってほしいこと | |  | | |
| 提案の詳細  （自由記入） | | (背景・現状・課題、目標・将来像、実施手法などを可能な範囲で記入してください) | | |

【記載例】　提案用紙（次期札幌市アイヌ施策実施プランのアイデア）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | （ふりがな）　さっぽろ　たろう | | 住所 | 〒060-8611  札幌市中央区北１条西２丁目 |
| 札幌　太郎 | |
| 電話  番号 | 011-211-2277 | | メール  アドレス | ainushisaku@city.sapporo.jp |
| やりたいこと  やってほしいこと | | 路線バスの車内でアイヌ文化交流センターのＰＲをしたい。 | | |
| 提案の詳細  （自由記入） | | アイヌ文化交流センターは、アイヌ民族が育んできた独自の文化を体験できる拠点として、平成15年に南区小金湯に設置された。  館内にはおよそ300点にわたるアイヌ民族の民具が展示されているほか、伝統楽器の演奏や舞踊の披露など、伝統文化の体験・交流イベントが開催されている。  しかし、令和２年度の市民意識調査によると、札幌市民の認知度は36.6％にとどまっており、アイヌ文化の振興のためには同センターの認知度向上、ひいては来館者の増加が課題となっている。  このような中で、今回の提案は、バスの乗客に向けて停留所案内を兼ねてアイヌ文化交流センターのＰＲを行うものである。停留所の確認の観点から乗客の車内放送への関心度は高く、結果としてアイヌ文化交流センターの認知度を高める効果があると考えられる。  具体的には、地下鉄真駒内駅から定山渓温泉までの路線バス（じょうてつバス）車内放送で、アイヌ文化交流センターのＰＲ放送を実施する。  定山渓温泉の宿泊施設利用者数は新型コロナ感染拡大前の平成27年度～令和元年度を見ると年平均約120万人となっており、札幌市内でも有数の観光地となっている。  定山渓温泉への交通手段は自家用車と路線バスの２つであり、自家用車が主ではあるが、路線バスも一定数利用されている。また、この路線バスはアイヌ文化交流センターの最寄りバス停である「小金湯」を経由する。  そこで、この路線バスの車内放送で、アイヌ文化交流センターのＰＲ放送を実施することで、路線バス利用者に同センターを認知してもらうとともに、その結果として同センターの来館につなげることを目指す。 | | |